

科目名	日本史B	単位数	3	必修選択	選択
教科書	高等学校日本史 B 新訂版(清水書院) 地歴高等地図 ―現代世界とその歴史的背景― (帝国書院)				
副教材	新詳日本史(浜島書店)				

教科・科目の内容

この科目は、2年次に「日本史A」を履修した生徒が対象です。「日本史A」では主に近代、現代の歴史について学びましたが、この「日本史B」では原始古代からの我が国の歴史の展開を考察していきます。授業ではさまざまな資料を用いながら、できるだけ史実を正確に把握し、過去の人々がどのような意識をもってこれらの時代を生きてきたのかを探ります。

日常生活や将来とのつながり

歴史は過去のことだから関係ない、と思っていませんか。歴史は現代社会と大いに関係があります。例えば、アメリカ軍基地が日本国内になぜあるのか、中国や韓国と対立がおこってしまうのはなぜなのか、世界でテロが起こるのはなぜなのか。これらは、歴史を知らずして理解することはできません。歴史は日常の積み重ねです。それを知ることによって現代社会の問題点を考え、答えを出していくのが私たちの役割です。まもなく主権者になる皆さんにとって、とても大切な科目と言えます。

この授業の学習方法(予習と授業の関わり)

まず、授業ノート(プリント)をしっかりとみましょう。授業で大切なことは、「なぜ？」を見つけ、答えを考えることです。先生の話の聞いたり、自分でまとめたりするとき、「なぜ？」という視点を持ち、用語の関連を考えながら整理していくことで、歴史的考察力が身につく、単なる暗記科目ではなくなります。また、予習として10分でもいいので、授業の前に教科書を読んでおくと、その日の授業の理解度が違います。その他、小テストや様々な学習ツールを利用して、授業内容を毎日少しずつ整理することが効果的です。

到達目標 【学習指導要領】

我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

評価の観点(評価方法)

① 関心・意欲・態度(活動状況・ワークシート・ノート)

我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究し、国際社会に主体的に生き国家・社会を形成する日本国民としての責任を果たそうとする。

② 思考・判断・表現(活動状況・ワークシート・ノート・定期試験)

我が国の歴史の展開から課題を見だし、国際環境と関連付けて多面的・多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。

③ 資料活用の技能(ワークシート・ノート・定期試験)

我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。

④ 知識・理解(小テスト・定期試験)

我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身に付けている。

指導学年	科目名	単位数	教科書名(出版社)	副教材名
3年	日本史B	3	高等学校日本史 B 新訂版(清水書院) 地歴高等地図 ー現代世界とその歴史的背景ー(帝国書院)	新詳日本史(浜島書店)

学期	学習内容	主な学習活動(指導内容)と評価のポイント	評価の観点			
			関	思	技	知
一学期	1ー1 日本文化のあけぼの	・旧石器文化、縄文文化及び弥生文化の時代の社会について理解する。	○	○	○	○
	1ー2 古代国家の形成と東アジア	・東アジア世界との交流に着目して、古代国家の展開と律令体制確立の過程を理解する。	○	○	○	○
	1ー3 律令国家の成立と都城					
	※ 中間試験			○	○	○
	1ー4 古代国家の推移と社会の変化	・荘園公領の動きや武士の台頭に着目して古代国家の推移と中世社会の萌芽について理解する。	○	○	○	○
	2ー1 古代から中世社会へ	・中世社会の形成過程と社会や文化の特色に対する関心と問題意識を高める。	○	○	○	○
	※ 期末試験	実施しない(日本史演習の試験内容に含める)				
二学期	2ー2 武家政権の成立と鎌倉文化	・武士の土地支配と公武関係、大陸との関わりに着目して武家政権の形成過程と鎌倉文化について理解する。	○	○	○	○
	2ー3 室町幕府と北山文化	・南北朝から室町時代の日本の諸地域の動向、日明貿易など東アジア世界との交流、下剋上など中世社会の多様な展開について理解する。	○	○	○	○
	2ー4 下剋上の社会と庶民の台頭					
	3ー1 中世から近世社会へ	・ヨーロッパ世界との接触とその影響、支配体制と儒学の役割に着目して織豊政権、幕藩体制の確立を理解する。	○	○	○	○
	3ー2 幕藩体制の成立と国際関係					
	3ー3 幕藩体制の展開と元禄文化	・幕藩体制下での経済・交通・技術の発展、都市の繁栄に着目して、江戸時代の生活文化を理解する。	○	○	○	○
	※ 中間試験			○	○	○
	3ー4 幕藩体制の動揺と化政文化	・欧米諸国のアジア進出、国学・蘭学などの発展と産業の新たな展開に着目して、江戸後期の政治の動揺と近代化の基盤形成について理解する。	○	○	○	○
	4ー1 近世から近代社会へ	・明治時代の日本の諸課題に関心を持ち、そのようにしてわが国が諸課題を克服していったのかを探究する。	○	○	○	○
	4ー2 明治維新と立憲国家の成立					
	4ー3 日清・日露戦争と東アジア	・大正時代の日本の諸課題に関心を持ち、世界的視野をもって経済の変化や政党内閣の成立などの歴史的事象を考察する。 ・昭和の国内外の状況を理解し、なぜ日本が戦争という選択をしたのかを探究する。	○	○	○	○
	5ー1 第一次世界大戦と日本の社会		○	○	○	○
	5ー2 政党政治の発展と大衆社会		○	○	○	○
	5ー3 第二次世界大戦への道		○	○	○	○
	5ー4 第二次世界大戦と日本の社会		○	○	○	○
	※ 期末試験	実施しない(日本史演習の試験内容に含める)				
三学期	6ー1 占領下の日本	・戦後の国際関係から、わが国が置かれた立場を客観的に考察し、現代がどのように形成されたかを探究する。	○	○	○	○
	6ー2 日本の独立回復と戦後政治					
	6ー3 経済大国日本への道					
	6ー4 現代の世界と日本					
	※ 学年末試験			○	○	○

備考	【系列Ⅲ】日本史演習（2単位）と同一集団の授業です。授業内容も連動して行います。
----	--